

試験結果報告書

生体抗酸化試験

令和3年4月21日

株式会社 ピーアンドアール 殿

遠赤外線応用研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No.221S-1113

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

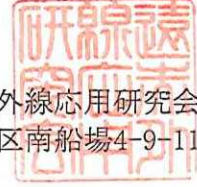
〒542-0081
大阪市中央区南船場4-9-11 3F

遠赤外線応用研究会
TEL 06-6251-7619

試験結果報告書

No.221S-1113
令和3年4月21日

株式会社 ピーアンドアール 殿



遠赤外線応用研究会
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 生体の抗酸化力

試料 CM-AFS (クレイミネラルアクティヴファイバーシート)

測定機器 (株)リブアンドラブ社製 唾液酸化還元測定器

試験方法 健常な男性 (51才) を被験者とし、使用前の酸化還元電位を唾液により測定した。次に、CM-AFS (クレイミネラルアクティヴファイバーシート) を背中に敷いて使用し、30分後に同様に測定した

試験結果

生体酸化還元電位測定値

	使用前	使用30分後	増減値
CM-AFS(クレイミネラル アクティヴファイバーシート)	81	70	-11

(単位:mV)

考察 生体の健康度を示す目安の一つである酸化還元電位は、使用30分後で11低減した。この要因が個人差によるものかどうかは分からないが、少なくともCM-AFS (クレイミネラルアクティヴファイバーシート) を長期に渡って使用することで酸化還元電位が低減される可能性が示唆された。
尚、測定は各3回ずつ実施し、その平均値とした。

本報告書は供試試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

以上